

「セイサかたちゅうガーデン リ・スタート」

星槎小田原キャンパス（旧片浦中学校）の校庭の小さな畑と野外キッチンでは、自然とつながり、人と人がつながる様々な実践が行われています。

2011年より旧片浦中学校の校庭に“片浦食とエネルギーの地産地消プロジェクト”にて野外キッチンや小さな畑をつくり、食育やエネ育の場として、また、様々な人々の出会いと交流の場として活動が行われてきました。

2018年度から星槎グループが活動に参加することになり、校庭にある小さな畑は「セイサ・かたちゅうガーデン」として再スタートすることになりさらに充実した取組に発展していきそうです。



片浦「食とエネルギーの地産地消」プロジェクト

「食とエネルギーの地産地消」について学び実践し、そこに集う人々のつながりから新たな地域コミュニティづくりを目指しています。



2018年6月2日（土）

片浦小学校放課後子ども教室「初夏のガーデンあそび」実施。小田原学習センターの在校生及び保護者もスタッフとしてイベントに参加しました。50名という今までにない参加人数で、かつ新入生やお母さんたちが参加してくれて、準備の段階で不安もありましたが、おおいに盛り上がり、子供たちの笑顔がキラキラと輝いていました。



子どもたちと一緒に草取りや苗植えをしました。すっかり、なついてしまい「お姉さん」していました。



かまどチームとして、火起こしと力仕事を子どもたちの手本になるように実践！かまどでのご飯づくり…はじめての体験です！



星槎小田原キャンパスが「セイサかたちゅうガーデン」として、みんなの居場所になりました。



片浦小学校のPTAも星槎のPTAも地域の方々も、子どもと一緒に最高のコミュニティをつくれました。